

2026 年 10 月 13 日

愛広発 情報 Box26-23

下記の通り概要をお送りいたしますので、貴社の媒体等を通じ、一人でも多くの方に紹介させていただきたくご連絡を差し上げました。よろしくお願い申し上げます。

**三遠ネオフェニックスと愛知大学(地域政策学部 元晶煜ゼミ)
との連携事業
ダンカー通信(26-27 シーズン)の共同制作について**

三遠ネオフェニックスと愛知大学は、連携に関する包括協定および 26-27 シーズンのパートナーシップに基づき、各種の連携事業に取り組んでいます。この度、東三河エリアの小中学校において配布される「ダンカー通信」について、本学地域政策学部の元晶煜(ウォン ジョンウク)ゼミ生が、フェニックスとともに共同制作に取り組みました。ダンカー通信については、2026 年 10 月から 1 月にかけて、3 回の発行を予定しており、今回はその第一弾となります。

【ダンカー通信について】※配布データについては、添付 PDF 参照

ダンカー通信とは、三遠ネオフェニックスのホームゲームやバスケットボールの魅力を紹介するとともに、実際にホームゲームを観戦する機会を提供する、小中学生向けの情報発信媒体です。

【配布時期】2026 年 10 月中旬より

【配布対象】豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市の小中学生

【参画ゼミ】愛知大学 地域政策学部 元晶煜ゼミ(スポーツ社会学・スポーツ経営学)

【事業目的】

東三河地域の小中学校生に対して、地域を代表するプロスポーツチームである「三遠ネオフェニックス」の認知向上や、ホームゲームへの招待を目的とし、大学生の目線や企画によって制作することで、従来以上の関心を持たれるとともに、話題性のある媒体となることを目指しています。結果として、東三河地域のスポーツ活性化につなげていきます。

【(株)フェニックスからのコメント】

今回の取り組みを通じて、愛知大学の学生の皆さまと一緒に、地域の子どもたちへスポーツの魅力を届ける機会を創出できたことを嬉しく思います。学生の皆さまの柔軟な発想や若い世代ならではの視点が、子どもたちの新たな興味や関心につながることを期待しています。今後も学生の皆さまと連携しながら、東三河の子どもたちに夢や感動を届け、地域に根差したクラブとして、スポーツを通じた地域貢献に取り組んでまいります。

【事業に取組んだ愛知大学生のコメント】

子どもたちが「三遠ネオフェニックスの試合を観に行ってみたい!」と思えるように、親しみやすく、バスケの魅力が伝わるデザインを意識しました。また、初めて観戦する子どもや保護者の方に向けて、観戦までの流れを 5 つのステップに整理し、より楽しんで貰えるように入場特典としてハリセンを配布する企画を考案しました。B.PREMIER に参入したフェニックスへの興味や期待感を持っていたら嬉しいです。(愛知大学 地域政策学部 3 年 岩貝雅希)

【取組風景】

画像別紙参照、データ提供など可

◇お問合せ先◇

愛知大学地域連携推進事務室 担当者:鈴木・長屋

Tel: 0532-47-4144 E-mail: c-renkei@ml.aichi-u.ac.jp

株式会社フェニックス マーケティング部 担当者:八木

Tel:0532-35-7528 E-mail: marketing@neophoenix.jp